



## 当社の陸上競技部の活動を紹介します。

### 中部実業団対抗駅伝

#### 当社3選手が区間新記録

第60回中部実業団対抗駅伝競走大会が愛知県田原市で開催され、中部地区から当社をはじめ9チームが出場しました。当社は、昨年より約4分早い3時間55分15秒の4位でゴールし、9年連続11回目のニューイヤー駅伝出場を決めました。

当社チームは、1区の服部弾馬選手、4区の河合代二選手、6区の河村一輝選手が区間新記録を出しました。



### ニューイヤー駅伝

#### 9年連続11回目の出場

ニューイヤー駅伝2021(第65回 全日本実業団対抗駅伝競走大会)が、群馬県前橋市の群馬県庁をスタート・ゴールとした7区間100kmのコースで1月1日に開催され、9年連続11回目の出場となる当社チームをはじめ、全国から36チームが出場しました。当社チームは21位(記録:4時間57分36秒)でゴールし、昨年の26位から順位を上げました。



▲スタートの様子(写真提供:毎日新聞社)

▲ゴールする服部弾馬選手

2021 Winter  
TOENEC NEWS

# トーエネックニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31  
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ  
TEL 052-219-1906

ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している  
以外にも当社の最新  
ニュースや施工実績を  
HPでご覧いただけます。



CHECK!



No.11

### 岐阜県海津市の小中学校で 通信ネットワーク整備

当社は、岐阜県海津市内の公立小中学校で実施する「校内ネットワークおよびパソコン整備事業」に参画しています。この事業は、文部科学省が推進している「GIGAスクール構想」の一環で、義務教育を受ける児童生徒に1人一台学習用パソコンを配布し、高速ネットワーク環境を整備するものです。海津市の事業は、2021年3月に運用開始予定です。海津市は、市内にある小学校10校と中学校3校の児童生徒あわせて2341人にノートパソコンを配布し授業に活用します。ノートパソコンは、校内で使用するだけでなく、各家庭におけるオンライン授業での使用も想定しています。



11月10日

#### 電気工事技能競技大会で最優秀賞

電気工事の現場作業者による技術競技会「会」が、東京武道館(東京都足立区)で開催され、電気工事会社などから42人が出場しました。当社から出場した渡邊昂社員が同大会の最優秀賞となる経済産業省関東東北産業保安監督部長賞を受賞しました。



2021年3月期 第2四半期  
2020年3月期 第2四半期

	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期		
	連 結	個 別	連 結	個 別
売 上 高	102,527 (△0.3%)	93,601 (△0.1%)	102,867 (4.5%)	93,716 (7.1%)
営 業 利 益	6,593 (20.5%)	5,463 (20.7%)	5,472 (54.8%)	4,526 (61.9%)
経 常 利 益	6,217 (24.2%)	5,068 (22.0%)	5,006 (59.9%)	4,153 (64.2%)
親会社株主に 帰属する四半期純利益 (個別は、四半期純利益)	4,115 (△5.6%)	3,363 (△12.5%)	4,357 (113.0%)	3,842 (124.7%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

2021年3月期 第2四半期  
2020年3月期 第2四半期

## トピックス 技能五輪全国大会 電工職種で入賞しました。

第58回技能五輪全国大会が、11月13日から16日までの4日間、愛知県で開催され、各都道府県の代表に選ばれた満23歳以下の若手技能者944人が42職種で熱戦を繰り広げました。

当社からは電工職種（屋内電気工事を行う競技）に社員5人が出場し、馬原悠希社員（愛知県代表）が銀賞を受賞、棚橋一挙社員（愛知県代表）が敢闘賞を受賞しました。



## 現場の足跡あひ あと

### 最新の施工実績を紹介します。

**東芝キヤリア(株)様 富士工場 技術棟**

新築した技術棟は、執務エリアを実証実験施設として、実際に同社の製品や技術などをさまざまな条件下で使用しながら検証を行います。そのため一般的なオフィスビルではあまり見られない仕様となつてゐる部分がいくつありました。そこで電気設備についても、それらの仕様に合わせて施工しました。一例として、執務エリア内ではエアコンの発するノイズなどのデータ収集も行っており、正確なデータを取得するために壁のほとんどが遮音壁となっています。そこで室内の遮音性を向上させるべく電気配線用の開口部にゴムなどを取り付けて密閉処理をするといった細かな配慮をしています。

また、執務エリアごとに照明の制御についても検証などを行います。ここで各エリアで異なる照明制御方法がどられています。これに伴い照明用のケーブルや配線方法なども異なっていました。

各エリアの配線を確認しながら設置を重ね、メンテナンスなどの際、各エリアの配線を判断しやすいように施工しました。

**施工概要**

- 工事場所 静岡県富士市蓼原336
- 工期 2019年2月1日～2020年2月20日

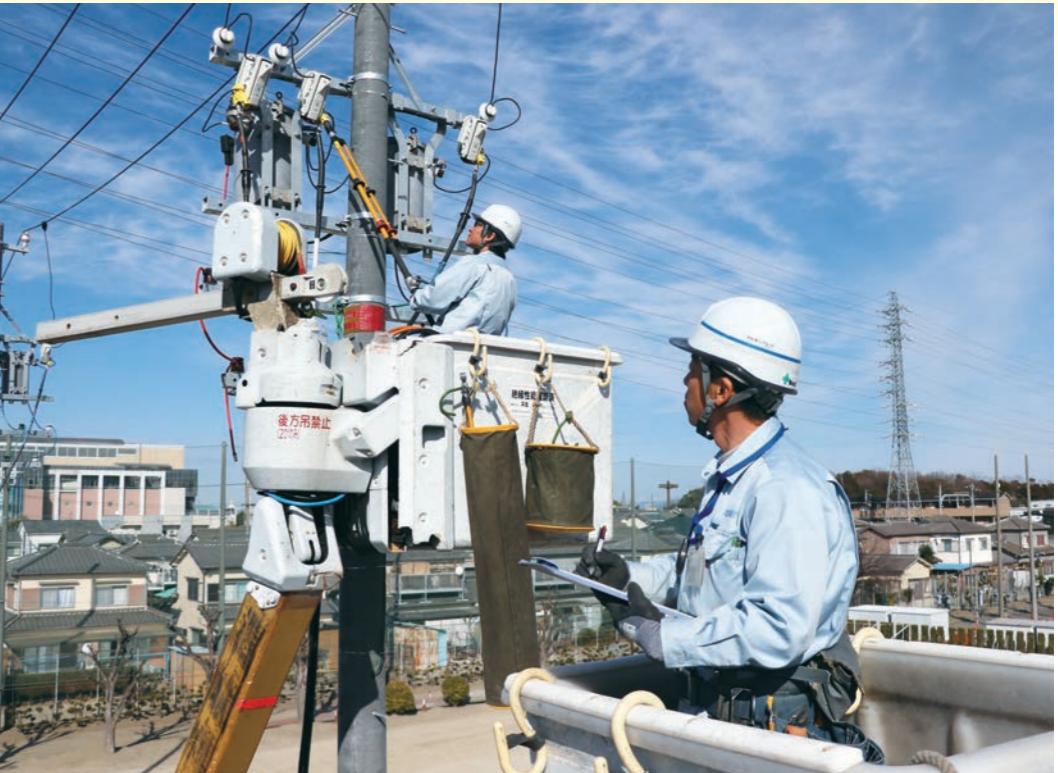
## トピックス 配電線工事 現場作業の“かいぜん”に取り組んでいます。

当社の配電線工事の現場では、安全かつ高品質な作業を行うために、日々、作業のかいぜんに取り組んでいます。

具体的な作業のかいぜん方法として、トヨタ生産方式（Toyota Product System以下、TPS）※を導入して現場における作業方法などを見直し、標準作業として全社に展開しています。

今回は、当社の配電線工事における取り組み事例をご紹介します。

※トヨタ自動車（株）が行う、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底」「ジャストインタイム」「見える化」などにより、無駄を徹底的に排除する手法。工場などの製造現場にとどまらず、多くの企業がその考え方を取り入れている。



▲作業方法の検証の様子

## 全社標準作業競技大会

当社は、全社標準作業競技大会を昨年の11月に開催しました。標準作業とは、TPS手法を用いてかいぜんした配電線工事の現場作業のことで、同大会は、各現場に展開されている標準作業について、手順を覚え、理解することを目的に2019年から開催しています。

当日は、当社の6支店から代表が出場し、3人1チームとなって、決められている標準作業で電柱上に設置されている変圧器の揚替工事に取り組み、手順どおりの作業の実施、安全・品質の確保、効率的な作業の実施などについて審査を受けました。

当社の関係者は「少子化などで現場作業者の減少が予想される中、さらなる作業要員の少人数化および作業時間の短縮が必要となってきます。これからも誰もが安全で高品質かつ効率的な工事ができるよう、かいぜんを進めていきます」と話しました。



▲競技大会の様子



▲競技中の様子

## 鳥害用品の設置作業（事前準備）の効率化

配電線工事においては、鳥害事故・糞害などを防止するための鳥害対策として、電線や支線の上部にビニールロープを張る工事があります。ビニールロープを張る際は、支持具を等間隔で電線に取り付け、そこにビニールロープを設置します（写真）。

これまででは、作業の前日に事業場の構内で必要な長さのビニールロープを伸ばして、支持具を等間隔で取り付けるための準備作業を行っており、時間と労力がかかっていました。今回、伸ばしたロープの長さが計測器に表示される工具を開発し、作業員が1人で等間隔で支持具の取り付けができるようになりました。

